

投資家の皆様へ

神鋼商事株式会社 会社説明会



代表取締役社長

高下 拡張

経歴

1990年 4月 当社入社
2021年 6月 当社執行役員
2024年 6月 当社代表取締役社長(現任)

- ・ 国内、海外において銅製品の営業が長く、半導体、車載電装、空調などの成長分野で経験を積んできた。
- ・ シンガポール駐在時には神戸製鋼グループのものづくりを支えた。M&Aでオリジナルサプライチェーンを拡充。
- ・ 人事、財務経理の担当を経て、現職。



取締役 常務執行役員

高橋 淳

経歴

1991年 4月 当社入社
2022年 6月 当社執行役員
2024年 6月 当社取締役執行役員
2025年 6月 当社取締役常務執行役員 (現任)

- ・ 国内、海外のアルミ銅製品営業、その後営業企画部門で金属卸の流通再編(M&A)を担当。
- ・ 経営企画部長として米国エネルギー分野撤退を担当、また新事業推進室長(兼務)として石炭代替燃料のバイオマス事業投資を決定した。
- ・ 経営企画部担当、新事業推進室担当

第1部 会社紹介・成長戦略

第2部 業績説明

01 会社紹介

04 業績概要

02 成長戦略

05 通期業績見通し

03 ご参考

06 株主還元

CONTENTS

※業績説明資料は11月6日公表の2025年度第2四半期決算説明資料にてご説明いたします

第1部 会社紹介・成長戦略

第2部 業績説明

01 会社紹介

04 業績概要

02 成長戦略

05 通期業績見通し

03 ご参考

06 株主還元

CONTENTS

※業績説明資料は11月6日公表の2025年度第2四半期決算説明資料にてご説明いたします

01 会社紹介



神戸製鋼所の全額出資により大阪・北浜に
太平商事(株)を創立
東京支社を設立

1946

グローバル展開

米国、タイ、中国、
インド等を中心に
グローバル拠点を
拡大

●流通系

2011年

- ・(株)マツボーを子会社化

2014年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)
を子会社化

2015年

- ・KTN Co., Ltd.を子会社化

2016年

- ・中山金属(株)を子会社化
- ・エスシーウエル(株)を子会社化

2019年

- ・コベルコ筒中トレーディング(株)
と中山金属(株)を合併し、
神鋼商事メタルズ(株)に社名変更
非鉄子会社の流通再編

2023年

- ・稲垣商店を連結子会社化

事業投資促進

2010年代～

●ものづくり系

2018年

- ・森本興産(株)を子会社化

2021年

- ・神商精密器材(揚州)有限公司を
子会社化
- ・TRACK DESIGN INDIA 設立
アルミ水平リサイクル本格稼働

2022年

- ・脱炭素ファンドへの出資

2023年

- ・KTN METAL VIETNAMを設立
- ・ちとせグループへの出資開始

2024年

- ・アルミチャンバー合併会社設立
(神商精密(株))
アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・日本グラニューレーターを子会社化
- ・KGモーターズへの出資

2025年

- ・アルミ建材スクラップ格上げ事業
アルミ資源循環ビジネスの強化
- ・アルミリサイクル事業・合併会社
設立 (田口金属)
- ・ブラックバークペレット事業参画
- ・AIP受託成膜加工事業合併会社
設立

100年
企業へ

設立

1946 年

従業員数

1,437名(連結)
566名(単体)

※2025年3月31日現在

グローバル拠点

77 拠点

※2025年3月31日現在

グループ会社

国内18社／海外41社
計59社

※2025年9月30日現在

神戸製鋼出資

35.9 %

※ 神戸製鋼所とその子会社が、
当社株式を保有する比率

市場名

東京証券取引所
プライム 市場
証券コード： 8075

連結経常利益

118 億円

※2024年度実績

ROE・ROIC

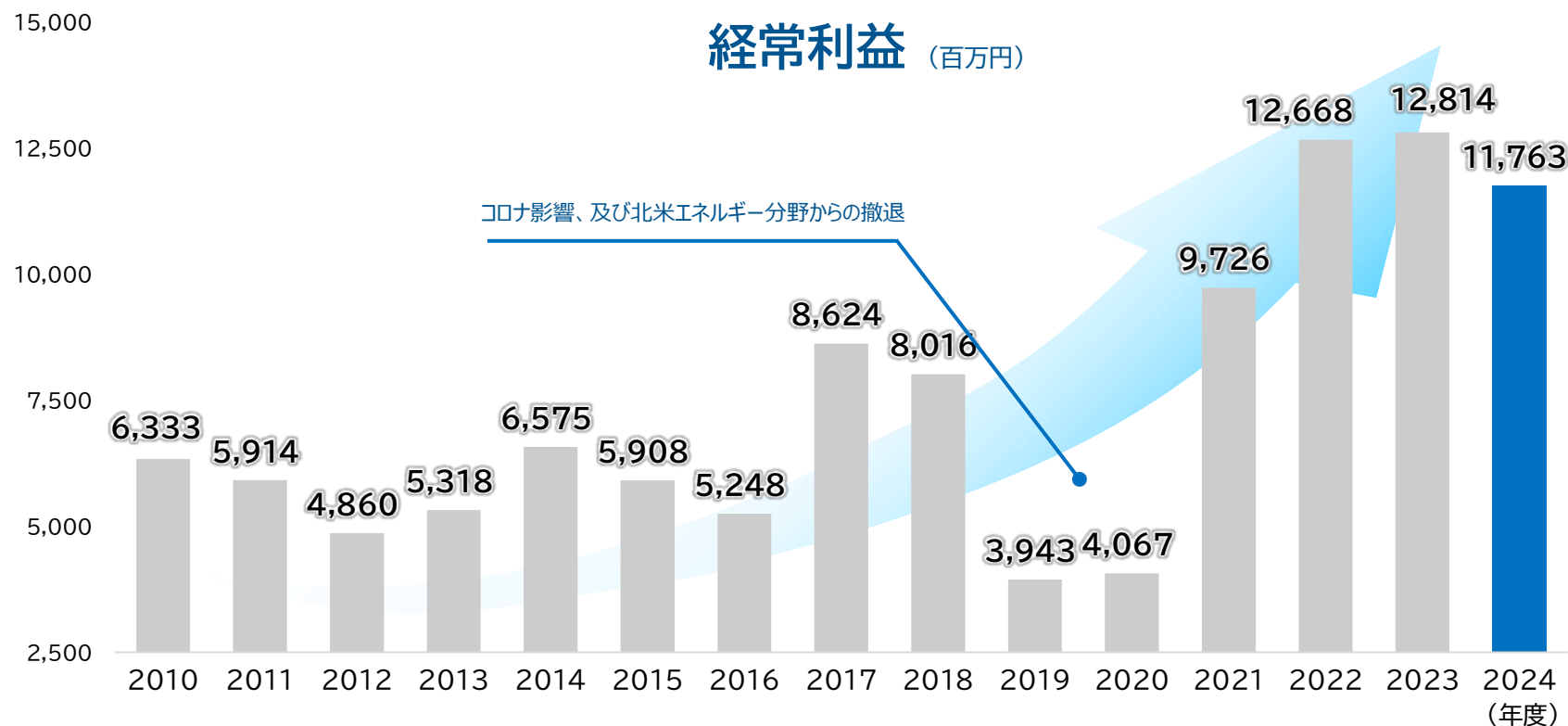
ROE 9.7 %
ROIC 6.1 %

※2024年度実績

1株あたり配当金

106 円

※2025年度予想



| | 2010年度 (2011/3月期) | 2020年度 (2021/3月期) | 2024年度 (2025/3月期) | 2010年度対比 |
|------|----------------------|----------------------|----------------------|----------|
| 経常利益 | 63億円 | 41億円 | 118億円 | 1.9倍 |
| 純資産額 | 261億円 | 572億円 | 930億円 | 3.6倍 |
| 時価総額 | 189億円 | 199億円 | 516億円 | 2.7倍 |

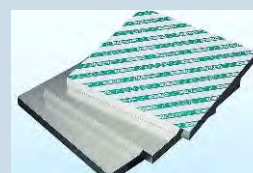
素材系

金属本部

鉄鋼ユニット



アルミ・銅ユニット



原料ユニット



機械・溶接本部
25%

経常利益
118億円

※2024年度実績

金属本部
75%

46%

26%

機械系

機械・溶接本部

機械ユニット



溶接ユニット



新事業推進室

社会的価値のある
サステナブル新規事業

金属本部 (素材系)

機械・溶接本部 (機械系)

鉄鋼

アルミ・銅

原料

機械

溶接

- 鉄鋼製品のサプライチェーンにおいて必要不可欠な存在として、加工機能、デリバリー機能、物流機能に加え、需要家の海外展開へのサポートなど安定的なサービスを提供

- 安全・安心な供給力を基盤に、技術やサービスを組み合わせ「第二・第三の価値」を創出

- 長年培ったグローバルネットワークを活かし、安定供給を実現。
- メーカー商社として上流～下流までを熟知し、品質と付加価値にこだわった提案を実施

- 得意とするニッチな分野への専門性が高く、お客様のものづくりの課題解決。
- サプライチェーン強化に向けた提案力を持ち、取扱商品を通じてCO2排出量削減に貢献

- 幅広い製品ラインナップと専門知識を活かし、あらゆる現場に最適な材料と技術を提供

事業領域

- 自動車
- 建設
- 造船
- 機械

- 自動車
- 半導体
- 家電
- スクラップリサイクル
- 液晶ディスプレイ

- 鉄鋼
- 電炉
- 発電所

- 化学
- エンジニアリング
- 建機
- 食品
- 金属
- 電気・機械関連

- 自動車
- 造船
- 建設機械
- 鉄骨
- 橋梁

主要取扱製品

- 線材・条鋼
- 厚板・薄板
- チタン・ステンレス

- アルミ製品
- 銅製品
- 非鉄原料

- 鉄鋼原料
- 鉄スクラップ
- バイオマス燃料

- 汎用空気圧縮機
- 一般産業機械
- 建機部品

- 溶接材料
- 溶接機
- 溶剤原料
- ロボットシステム

■ 海外

欧州・中東・インド

- Kobelco Trading India Private Limited [グルガオン]
- ▲ Track Design India Private Limited [チェンナイ]
- Shinsho Europe GmbH [デュッセルドルフ]
- ドバイ事務所 [ドバイ]

北中米

- Shinsho American Corporation [デトロイト近郊、サウスカロライナ、ロサンゼルス]
- ▲ Grand Blanc Processing, L.L.C. [デトロイト近郊]
- Shinsho-Meihoku Wire, Inc. [コロンバス]
- ▲ Aiken Wire Processing, L.L.C. [サウスカロライナ]
- ▲ Dexter Fastener Technologies, Inc. [デトロイト近郊]
- ▲ Aiken Precision Technologies, L.L.C [サウスカロライナ]
- Shinsho Mexico S.A. de C.V. [グアナフアト]

- 海外事業所
- 主要子会社（販売拠点）
- ▲ 主要子会社（加工・製造拠点）
- ▲ 主要関連会社（加工・製造拠点）

アセアン・豪州

- Thai Escorp Ltd. [バンコク、ポーウィン、アユタヤ、アマタシティチョンブリ]
- TES E&M Service Co., Ltd. [バンコク]
- Shinsho Metals (Thailand) Ltd. [バンコク]
- ▲ Ondo Shinsho (Thailand) Co., Ltd. [ラヨン]
- ▲ KTN Metal Vietnam Co., Ltd. [バクニン]
- Kobelco Trading Vietnam Co., Ltd. [ホーチミン、ハノイ]
- ▲ Vina Washin Aluminum Co., Ltd. [ビンドウオン]
- Shinsho (Malaysia) Sdn. Bhd. [クアラルンプール]
- ▲ Naito Asia Sdn. Bhd. [クアラルンプール]
- PT. Kobelco Trading Indonesia [ジャカルタ]
- PT. Shinsho Metals Indonesia [ジャカルタ近郊]
- Shinsho Moranbah Coal Pty. Ltd. [シドニー]
- Kobelco Trading Australia Pty. Ltd. [シドニー]

東アジア

- 神鋼商貿（上海）有限公司 [上海、北京、広州、大連、武漢、天津]
- 上海神商貿易有限公司 [上海]
- ▲ 神商大阪精工（南通）有限公司 [南通]
- ▲ 蘇州神商金属有限公司 [蘇州]
- ▲ 神商精密器材（蘇州）有限公司 [蘇州]
- ▲ 神商精密器材（揚州）有限公司 [揚州]
- 神商金属制品（上海）有限公司 [上海]
- ▲ 神鋼特殊鋼線（平湖）有限公司 [上海近郊]
- ▲ VSC Shinsho Co., Ltd. [香港]
- ▲ 広州神昌金属製品有限公司 [広州]
- 韓国神商(株) [ソウル]
- ▲ KTN Co., Ltd. [ソウル近郊]
- ▲ Allmet Co., Ltd. [ソウル近郊]
- 台湾神商股份有限公司 [台北、桃園、新竹]

02 成長戦略

素 材

機 械

素材と機械の融合
産業をまたいだ、ものづくり全体へのソリューション提供



資源循環

アルミスクラップ
水平リサイクル/
高度選別

カーボン
ニュートラル

バイオマス燃料
製造事業

地産地消

北米・インド・中国
でのサプライ
チェーン強化

DX

サプライチェーン
プラットフォーム
構築

中期経営計画 3つの柱

KOBELCOグループビジネス

オリジナルサプライチェーン

SX 新事業推進

神鋼商事のコアコンピタンス

KOBELCOグループが持つ
多様な事業領域

メーカー商社としての専門的な
知見とノウハウ

グローバルネットワーク

2026年度目標数値

経常利益

145億円

ROE

10.0%
以上

ROIC

6.5%

自己資本比率

21%
以上

ROE : 自己資本比率

ROIC : 投下資本利益率

親会社に帰属する当期利益 ÷ 自己資本

(経常利益 + 支払利息 - 法人税等) ÷ (外部有利子負債)

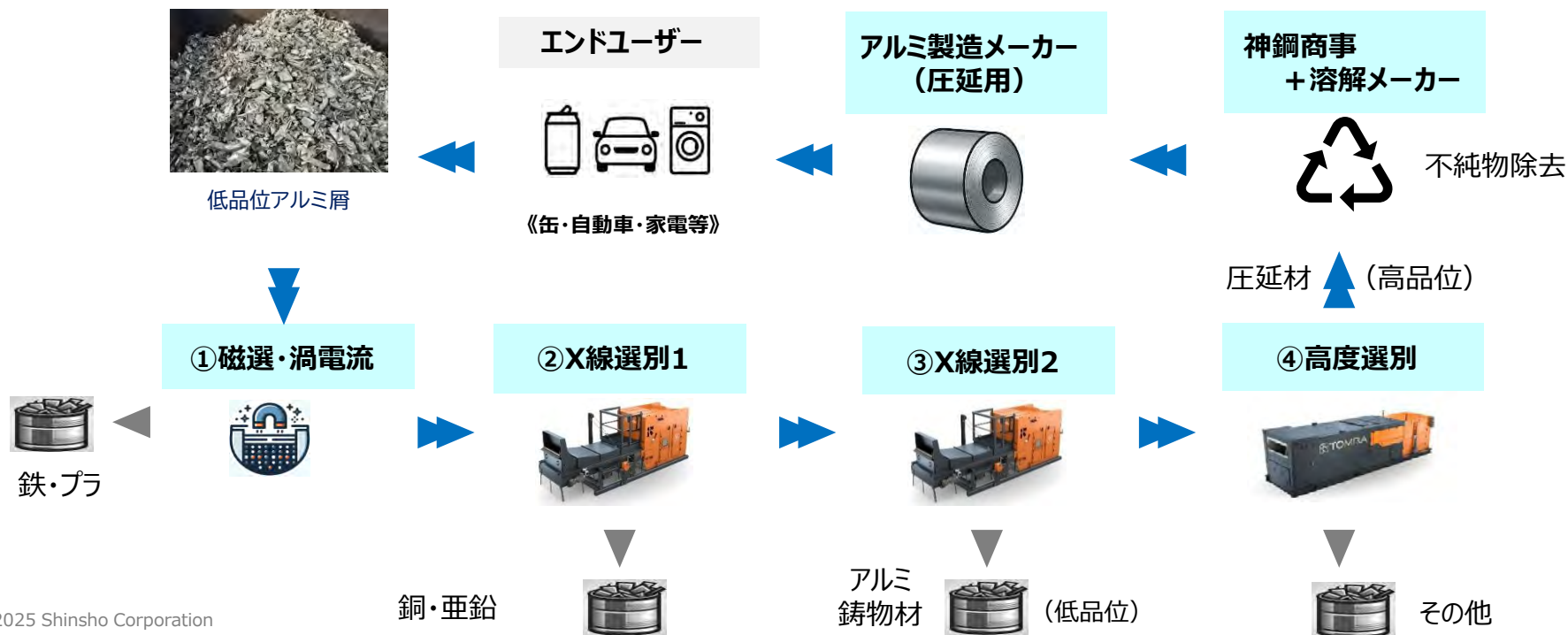


課題認識と求められる対応

- ・市中で発生する低品位アルミ屑の40%が海外に流出（＝エネルギーの国外流出）
▶ 国内循環促進が必要
- ・高品位アルミスクラップ需要の高まり 及び
▶ 低品位アルミ屑のアップグレード
- ・EV普及によるエンジン部品用低品位リサイクルアルミ需要減（＝海外流出の加速）

神鋼商事が提供するソリューション

- ・ 動静脈の連携により業界初の試みとなる低品位アルミ屑の高度選別技術確立で、国内資源循環を促進
- ・ 全国的な事業展開も視野に





■ 課題認識と求められる対応

- ・カーボンニュートラル社会への貢献
 - ▶ 石炭火力発電から発生するCO₂の低減
- ・国産再生可能エネルギーの普及拡大
 - ▶ 国内資源循環の実現

■ 神鋼商事が提供するソリューション

石炭の使用量を削減し、CO₂排出を削減

- ・国内において、外販目的でBBP製造販売に取り組む先駆的な事例
※熊谷組、清本鉄工との合併事業を展開（ローカルエナジーシステム社）
- ・国内原料、国内消費の地産地消サプライチェーンを構築
- ・海外での事業推進も検討中

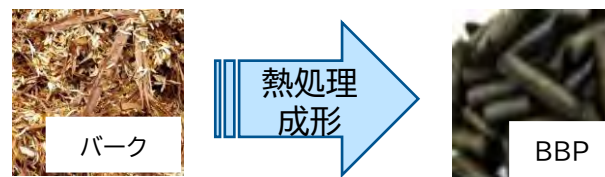
✕【石炭】

地中に固定化された炭素を掘り起こし、燃料として使用。



○【BBP】

従来廃棄処理されていた木材の樹皮（バーク）を活用、石炭代替燃料として使用可能。



※石炭と混焼可能。既存石炭火力発電設備の有効活用も可能。



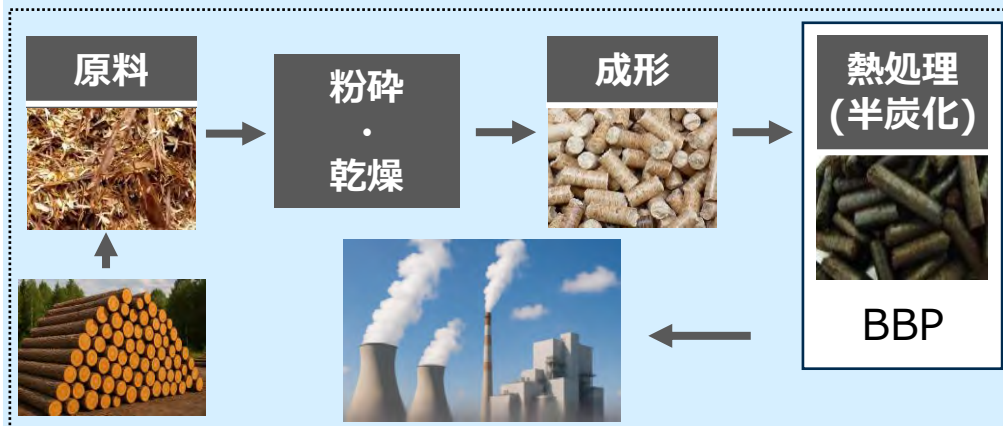
事業概要

| | |
|-------|---------------------------------|
| 会社名 | ローカルエナジーシステム株式会社 |
| 本社所在地 | 大阪市 |
| 株主 | 株式会社熊谷組 神鋼商事株式会社 清本鉄工株式会社 |
| 工場名 | 西条工場 |
| 所在地 | 愛媛県西条市 |
| 竣工予定 | 2026年7月 |
| 敷地面積 | 12,000 m ² |
| 製品 | ブラックバークペレット |
| 年間生産量 | 30,000 mt |
| 原料 | 樹皮（バーク） |



（西条工場完成予想図）

＜製造プロセス＞



＜特徴＞

半炭化による高カロリー化やハンドリング性向上により、発電及び製鉄用途として使用可能。

熱量UP 混焼性UP 疎水性UP

石炭→BBPへの置換により、CO₂排出を削減

【地産地消サプライチェーン】

原料調達：地元製材業者

BBP製造：ローカルエナジーシステム

販売先候補：火力発電所

■ 成長が続くインド建機市場に対する取組みを加速

- メイク・イン・インド政策／BIS規制が強化される中、成長が見込まれるインド建機市場での現地拡販を目指し、韓国大手鍛造メーカーである大昌鍛造と合併で建設機械部品の製造・販売会社である**Track Design India**※を設立

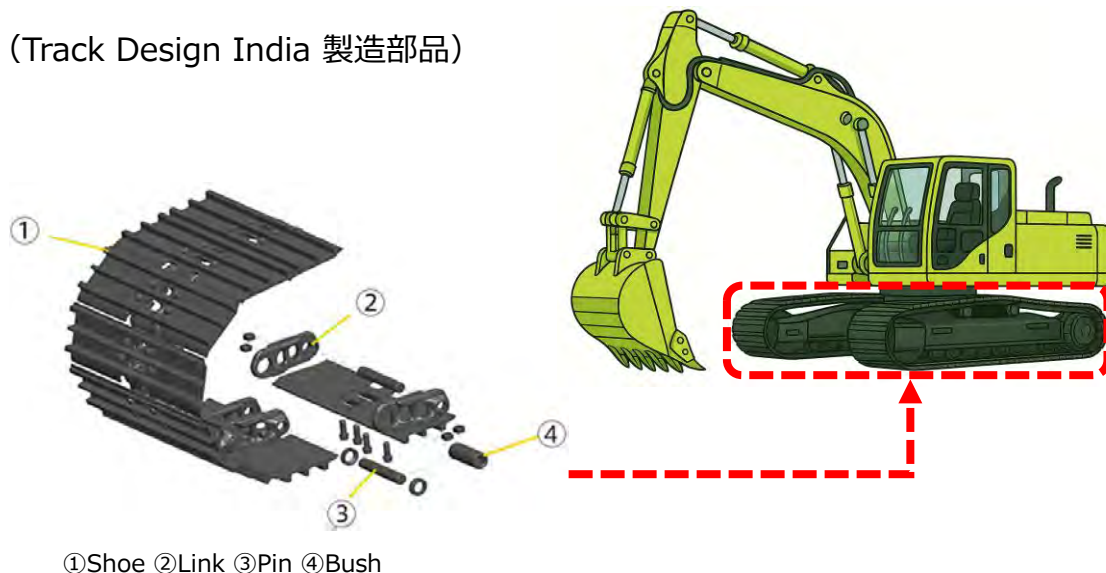
※大昌鍛造66.7%、当社33.3%出資

- 2025年度より、インド国内での**サプライチェーンの完全現地化（地産地消）**を開始。KOBELCOグループであるコベルコ建機向けに加え、現地大手メーカーにも販路を広げ、今後**工場拡張も視野に事業拡大**

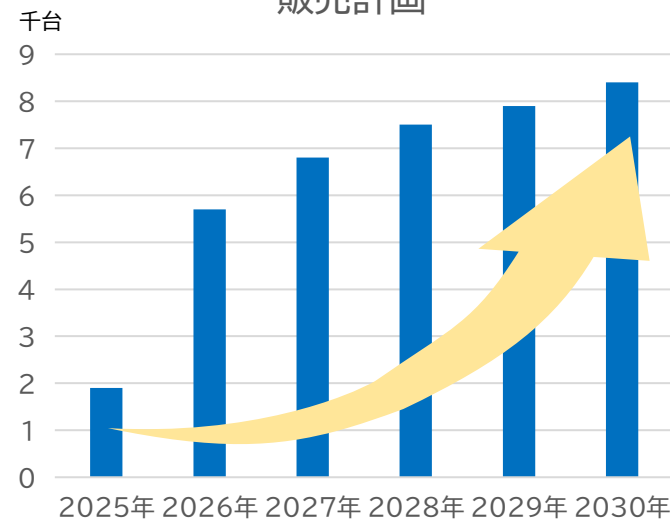


（Track Design India外観）

（Track Design India 製造部品）



販売計画



企業理念

私たちは誠実をモットーに、
新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、
みんなの幸せをめざします。

パーパス

2025年11月制定

自ら変化に挑む
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき
ワクワクする未来を創造する

変化の時代

現状に安住することなく
挑戦によって自らを変える覚悟が
不確実な未来を切り拓いていく

未来の課題にいち早く挑み

ひたむきに、誠実に、成功も失敗も糧にしながら
社会を次代へ牽引する力となる

これまで培ったモノ・コトづくりの歩みを更に前に進め
新しい価値をつくり、むすび、ひらいて
ワクワクする未来を自らの手で創りあげる

私たちは“ミライカダイ、挑戦商社”
神鋼商事

中期経営計画 3つの柱と重点分野

● 鉄鋼ユニット ● アルミ・銅ユニット ● 原料ユニット ● 機械ユニット ● 溶接ユニット ● 新事業推進室

| 主な事業分野 | KOBELCOグループ ビジネス | 神鋼商事オリジナル サプライチェーン | 新規事業推進 |
|----------|---------------------------------|--|--|
| 自動車 | ● 特殊鋼線条の事業領域拡大 ● サプライチェーンDX | | |
| 半導体 | | ● ベトナム/VINA WASHIN ALUMINUM押出プレス増設 ● 半導体製造装置部品事業 | |
| 資源リサイクル | ● 環境リサイクル関連投資 | ● 環境リサイクル関連投資 | |
| エネルギー | ● バイオマス燃料新商品開発 | ● バイオマス燃料 (木質ペレット)事業 | ● バイオマス燃料新商品開発 |
| ものづくりの現場 | ● エンジニアリング事業 | ● エンジニアリング事業 | |
| その他 | ● インド/TRACK DESIGN INDIA能力増強 | ● インド/TRACK DESIGN INDIA能力増強 ● 溶接商社機能強化 | ● 新規案件(※) (※)新規案件については、事業 分野を限定せずに検討中。 |

投資計画 3カ年合計
(2024年度～2026年度)

243億円 ※意思決定ベース

利益貢献額※ 3カ年合計
(2024年度～2026年度)



最新見通し

| 主な意思決定ベース内訳 | |
|-------------|------------------|
| 半導体 | 神商精密(株)の設備投資時期スレ |
| ものづくりの現場 | 工事・エンジニアリング会社M&A |



25年3月期時点の公表値



最新見通し

今中計期間中の投資
による利益貢献額

21～23年の投資
による利益貢献額

(※)意思決定ベース：26年度までに投資の意思決定は行いが、
キャッシュアウトが27年度以降となる案件

(※)利益貢献額：連結子会社の経常利益、持分法適用会社の持分法投資損益、設備投資による収益増加分、等

第1部 会社紹介・成長戦略

第2部 業績説明

01 会社紹介

04 業績概要

02 成長戦略

05 通期業績見通し

03 ご参考

06 株主還元

CONTENTS

※業績説明資料は11月6日公表の2025年度第2四半期決算説明資料にてご説明いたします

04 業績概要

2025年度第2四半期 決算概況（前年同期比）

- ❑ 日系自動車および建設需要の減少や輸出環境の悪化に伴い、素材の需要が減少した一方で、エネルギー分野やものづくりへの設備投資は堅調に推移
- ❑ 価格面においては、鋼材価格、原料炭、銅・アルミ地金が前年同期比で下落
- ❑ 金属本部は減益の一方で、回転機やヒートポンプなどの機械設備の納入やメンテナンスサービスが好調に推移し、機械ユニットが収益を下支え
- ❑ 海外投資先炭鉱やバイオマス発電所では操業再開の遅れも、足元では炭鉱や一部のバイオマス発電所で再開の動き

2025年度第2四半期 実績

- | | | |
|-----------------|---------|--------------|
| ❑ 売上高 | 2,928億円 | (前年同期比▲4.5%) |
| ❑ 経常利益 | 58億円 | (同 ▲5.3%) |
| ❑ 親会社に帰属する中間純利益 | 41億円 | (同 ▲10.8%) |

2025年度 通期 業績予想・配当予想

- ❑ 通期業績予想、年間配当予想については、前回公表値を据置き。
- ❑ 業績 : 売上高6,370億円、経常利益120億円、親会社株主に帰属する当期純利益92億円
- ❑ 配当 : 中間53円、期末53円（予想）、年間配当予想は106円

2025年度第2四半期 損益計算書

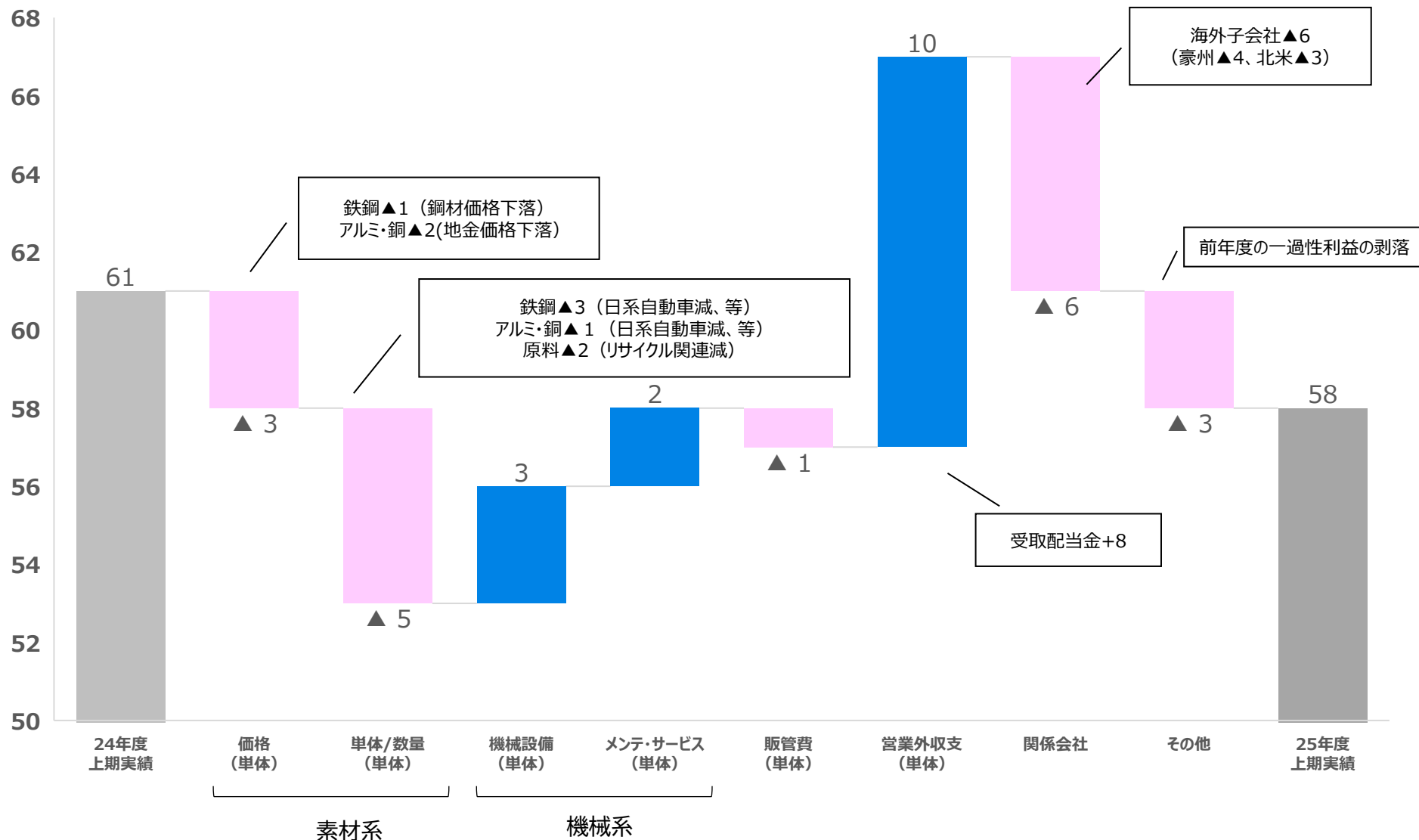
- 売上高は、主に金属本部の減収により、前年同期比4.5%減
- 営業利益は、素材系の数量減、価格下落と北米のコスト増加と原料が減少、機械系の増益でカバーしきれず同▲24.9%の53億円
- 経常利益は受取配当金の増加など営業外収支が改善し、同 ▲5.3%の58億円

| | 2024年度 2 Q ① (単位：億円) | 2025年度 2 Q ② | 増減額 ③=②-① | 増減率 ④=③/① |
|---------------------|----------------------------|-----------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 3,067 | 2,928 | ▲139 | ▲4.5% |
| 売上総利益 | 206 | 188 | ▲18 | ▲8.9% |
| 販売管理費 | 136 | 135 | ▲1 | ▲0.6% |
| 営業利益 | 70 | 53 | ▲18 | ▲24.9% |
| 経常利益 | 61 | 58 | ▲3 | ▲5.3% |
| (経常利益率 %) | (1.99%) | (1.98%) | (▲0.01%) | - |
| 親会社株主に帰属する 中間純利益 | 46 | 41 | ▲5 | ▲10.8% |
| 1株当たり 中間純利益 (円) | 173.00円 | 154.20円 | ▲18.8円 | ▲10.8% |

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2024年度の1株当たり当期純利益は3分割調整後の数値としております。

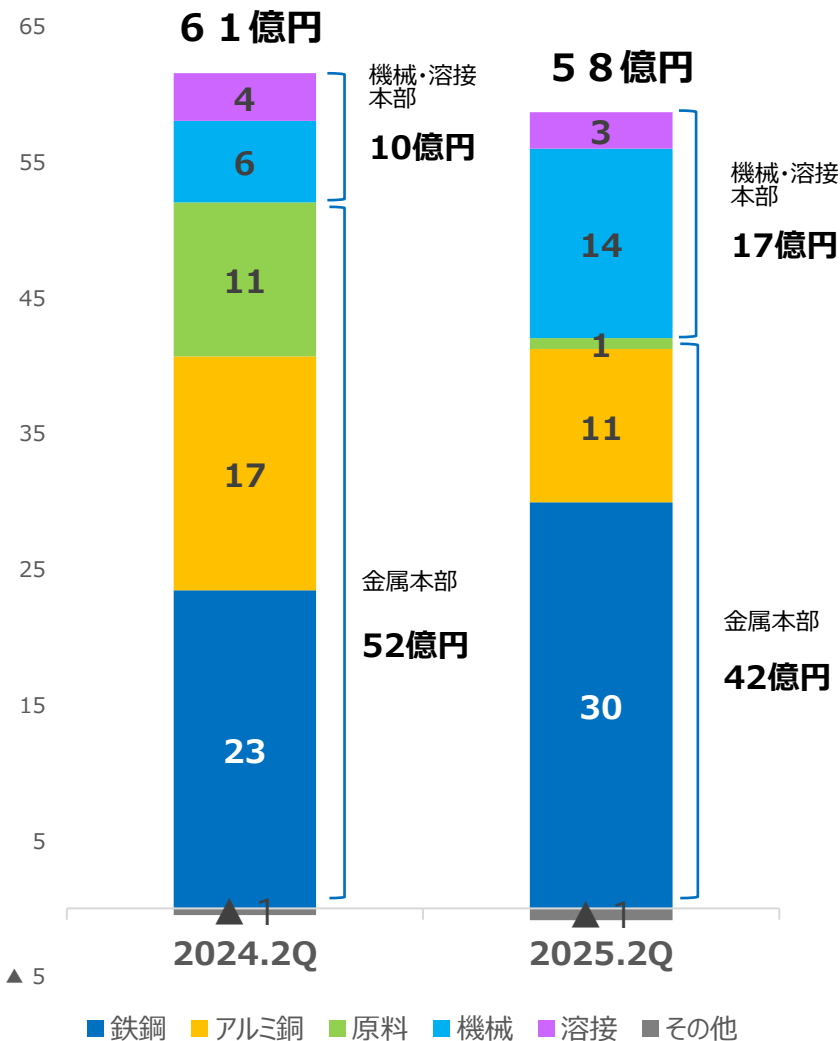
2025年度第2四半期 業績：全社 経常利益 前年同期比

(単位：億円)



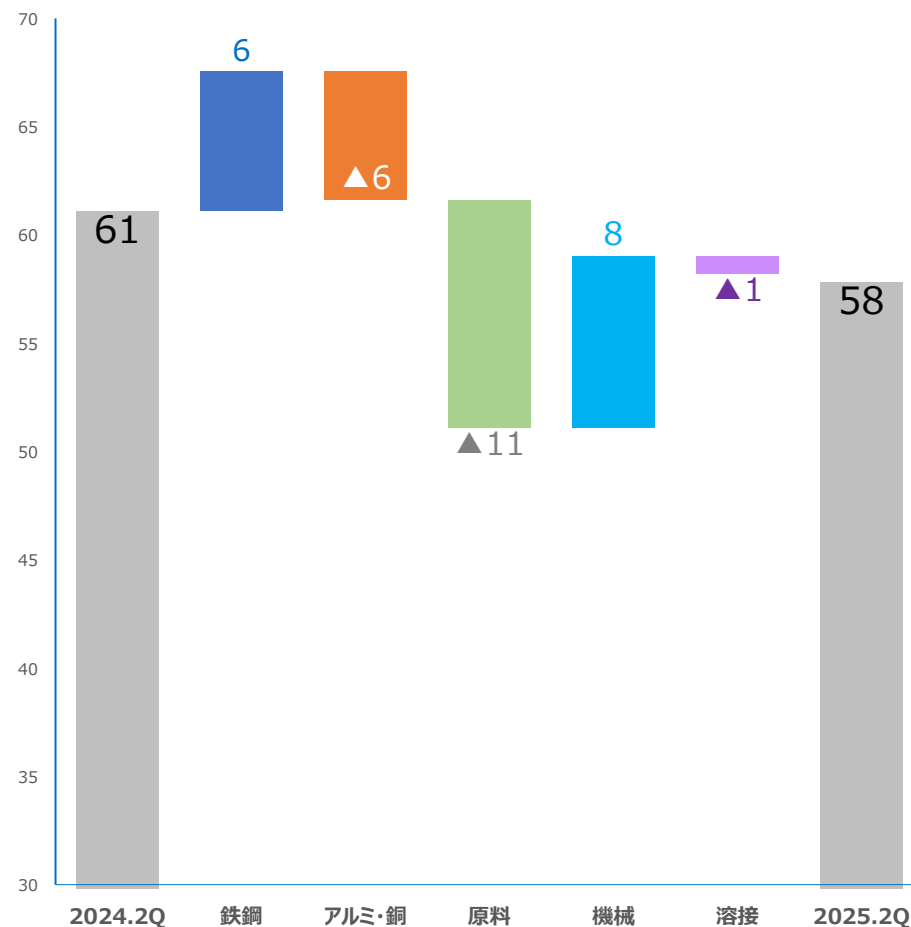
ユニット別経常利益 比較

(単位：億円)



ユニット別経常利益 増減

(単位：億円)



2025年度 ユニット別 経常利益増減要因 (金属本部 鉄鋼U)

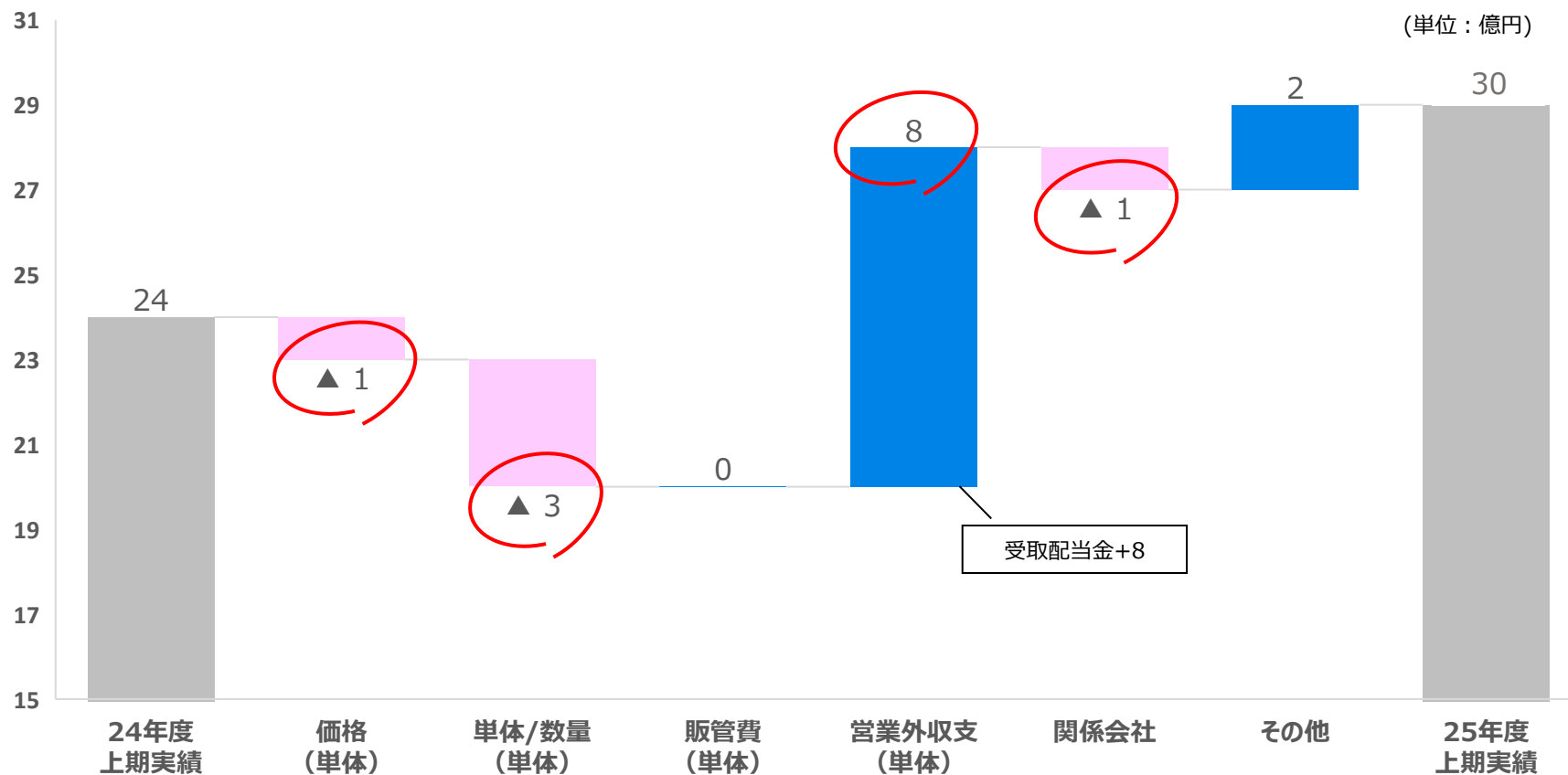
鉄 鋼

増減要因

【単体】 日系自動車の減産や建材分野の需要低迷による鋼材取扱数量の減少に加え、鋼材価格下落の影響も重なり売上総利益が減少

投資先からの受取配当金が増加

【関係会社・その他】 米国での調達・物流コストの増加により減益



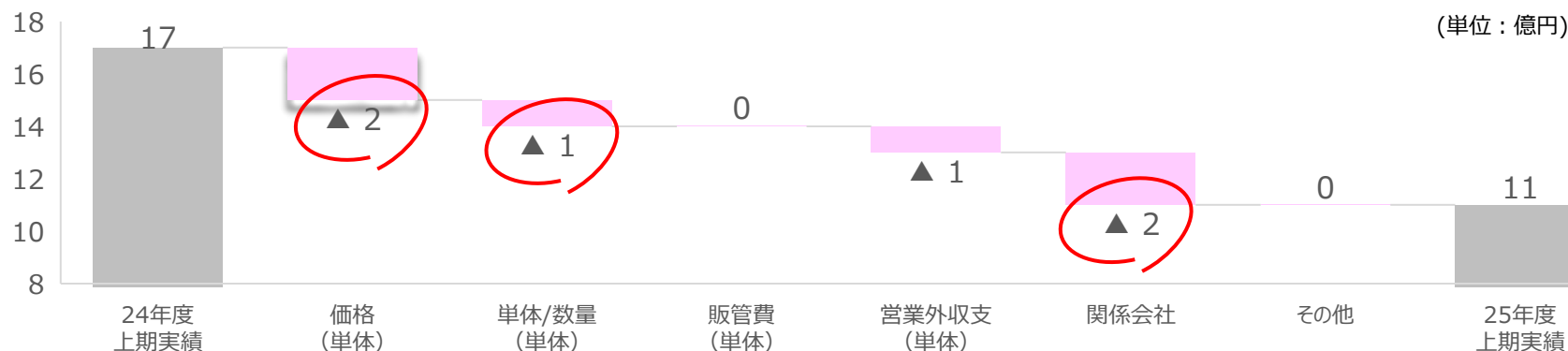
アルミ・銅

増減要因

【単体】アルミ製品は、自動車向けの取扱数量減少に加え、地金価格の下落により売上総利益が減少

銅製品は、自動車向け端子コネクターや空調銅管向けの取扱数量減少に加え、地金価格の下落により売上総利益が減少

【関係会社】半導体分野の需要減に伴い売上総利益が減少

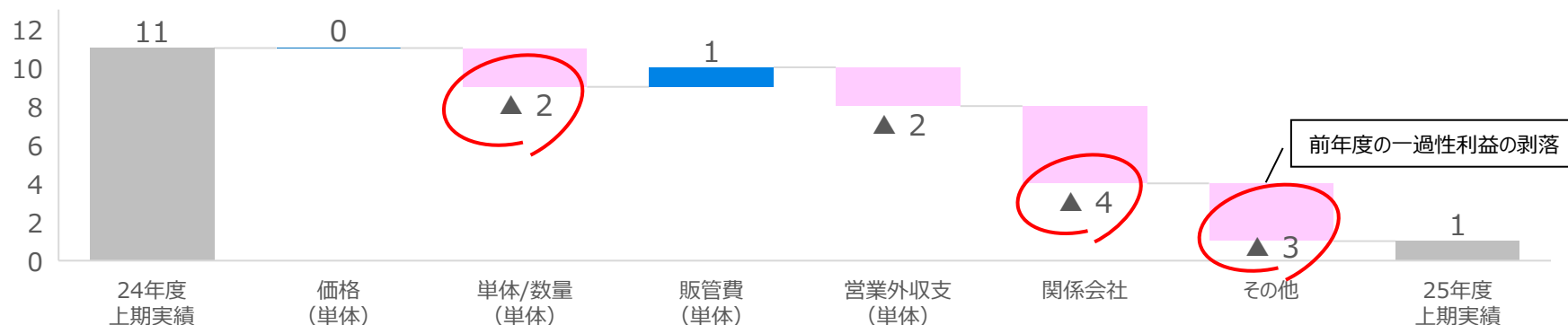


原料

増減要因

【単体】取引先の操業低下に伴いバイオマス燃料の取扱い減少

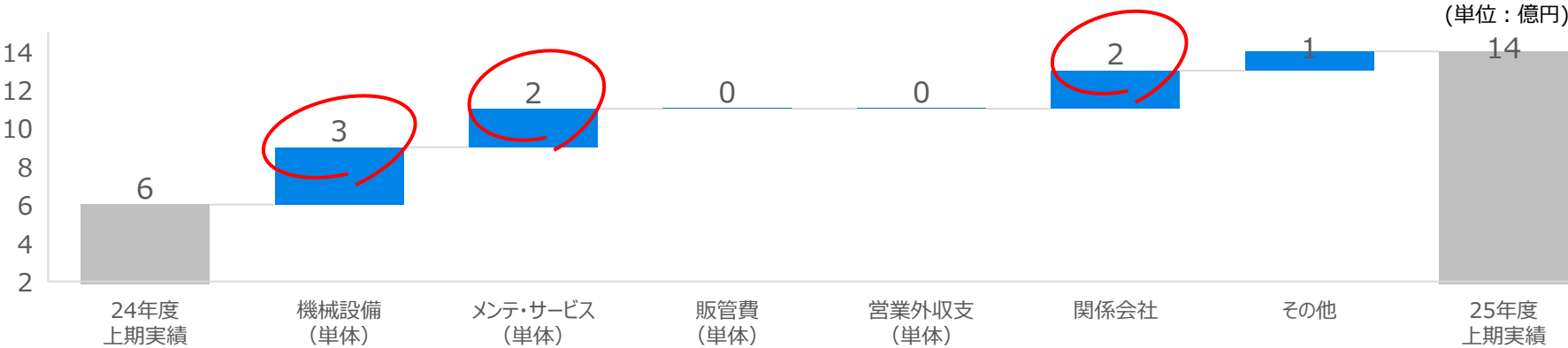
【関係会社】海外投資先炭鉱の操業不調による減益および前年度の一過性利益の剥落



機 械

増減要因

【単体】ヒートポンプや回転機等の機械設備の販売に加え、メンテ・サービスも好調に推移。
【関係会社】国内子会社も電気溶解炉の取扱い増加等の影響で増益。中国では、建機部品の取扱い増加。



溶 接

増減要因

【単体】溶接材料は価格上昇も、取扱量は減少。
【関係会社】溶接材料は価格下落。国内子会社では、前年度に値上げ前の仮需発生に伴う反動で減益。



05 通期業績見通し

【前提条件】

為替レート : 1USD=140円を想定。

(前回公表時より変更無し)



【外部環境想定】

| 分野 | 2025年度当初想定 (前回公表) | | 2025年度 見直し 外部環境想定 | |
|------------------|----------------------|--|-------------------|--|
| 自動車 | | 日系自動車生産台数は、引き続き低迷 米国関税政策による需要動向は不透明 | | 国内自動車生産台数は依然低水準も改善の兆し 米国関税前の駆け込み需要はあったが、足元落ち着いている状況 |
| 半導体 | | AI・データセンター向けは好転予想 自動車向けパワー半導体の需要回復には時間を要する見通し | | AI・データセンター向けは好調 自動車向けパワー半導体は依然低調 |
| 資源 リサイクル | | 鉄スクラップは国内、海外ともに軟調 国内アルミスクラップは、溶解スクラップ比率の上昇により堅調 | | 鉄スクラップは、国内発生量・需要ともに低調も海外が下支え 国内アルミスクラップは、堅調に推移 |
| エネルギー (バイオマス) | | 取引先の操業回復により、バイオマス燃料の取扱いは増加 | | 取引先の操業再開遅延により、バイオマス燃料の取扱いは減少 下期に一部再開の見込み |

※ 事業環境想定は神鋼商事グループを取り巻く事業環境で、必ずしも一般的な事業環境とは一致しません。

前回公表値から変更ありません

- 2025年度の通期業績予想は、前回公表値から修正無し。
- 金属本部の鉄鋼、アルミ・銅の取扱数量は2025年度上期に底打ち。日系自動車生産台数は回復基調。
- 機械ユニットでは、メンテナンス・サービスが好調を持続し、通期で増益見込み。
- 販売管理費のコスト削減を進め、経常利益は120億円を見込む。
- 配当も前回公表値から修正なし。中間配当53円、期末配当53円の年間配当106円を予定（配当性向30.4%）。

| (単位：億円) | 2025年度 2Q 予想 ① | 2025年度 2Q 実績 ② | 2025年度 通期予想 (前回公表値) ③ | 進捗率 ④=②/③ | 進捗状況と下期見込み |
|--------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------|--------------|--|
| 売上高 | 3,040 | 2,928 | 6,370 | 46% | 価格の軟化傾向による下振れリスクは有るものの、取扱数量は底を打ち、下期にかけて回復基調。 |
| 営業利益 | 47 | 53 | 119 | 49% | |
| 経常利益 (経常利益率 %) | 53 (1.7%) | 58 (1.9%) | 120 (1.9%) | 48% | 下期にかけて国内の自動車生産台数は回復基調。 販売管理費などの削減により、経常利益は120億円達成を見込む |
| 親会社に帰属する 当期純利益 | 43 | 41 | 92 | 45% | |
| 1株当たり 当期純利益 (円) | 162.00円 | 154.20円 | 348.00円 | - | |
| 配当金 (円) | 53円 | 53円 | 106円 | - | |

2025年度 通期業績予想 ユニット別経常利益見通し

前回公表値から変更ありません

| (単位：億円) | | 2025年 2Q 実績 | 2025年度予想 (前回公表値) | 進捗率 | 2025年度 通期見通し | 理由 |
|-----------------------|-------|----------------|---------------------|-----|-----------------|--|
| 金 属 | 鉄鋼 | 30 | 51 | 59% | → | 原料価格の軟化による下振れリスクは有るものの、取扱数量は底を打ち、日系自動車生産台数は下期にかけて回復基調。 前回公表値から、大幅な乖離は無い見込み。 |
| | アルミ・銅 | 11 | 26 | 42% | ↘ | 自動車向けアルミ製品は底打ちし、下期に回復の兆しも、半導体は回復は見込めず、ユニット全体として弱含み。 |
| | 原料 | 1 | 13 | 8% | ↓ | 一部発電所での再開の動きもあり、下期に回復傾向も、上期マイナス分を埋めるまでには至らず。 |
| | 小計 | 42 | 90 | 47% | - | |
| 機 械 ・ 溶 接 | 機械 | 14 | 23 | 61% | ↗ | 脱炭素関連設備の販売とメンテ・サービスは、下期も好調な取扱いを継続し、増益の見込み |
| | 溶接 | 3 | 7 | 43% | → | |
| | 小計 | 17 | 30 | 57% | - | |
| その他 | | 0 | 0 | - | - | |
| 合計 | | 58 | 120 | 48% | → | 価格は軟化傾向も、需要は徐々に底打ちに向かう。機械・メンテナンスの販売増加と全社的なコスト削減により、 全体としては前回公表値から修正無し |

06 株主還元

キャッシュ・アロケーション(2024～2026年度計画)

キャッシュイン

営業キャッシュフロー

ROIC経営を導入
モニタリング等により売掛金、在庫の圧縮に
努めるなど資本効率化を図る

営業キャッシュフロー200億円以上

有利子負債

有利子負債をコントロールし、
財務健全性を堅持
D/Eレシオ0.7倍以下を目安

キャッシュアウト

株主還元

配当金総額
80億円以上

事業投資

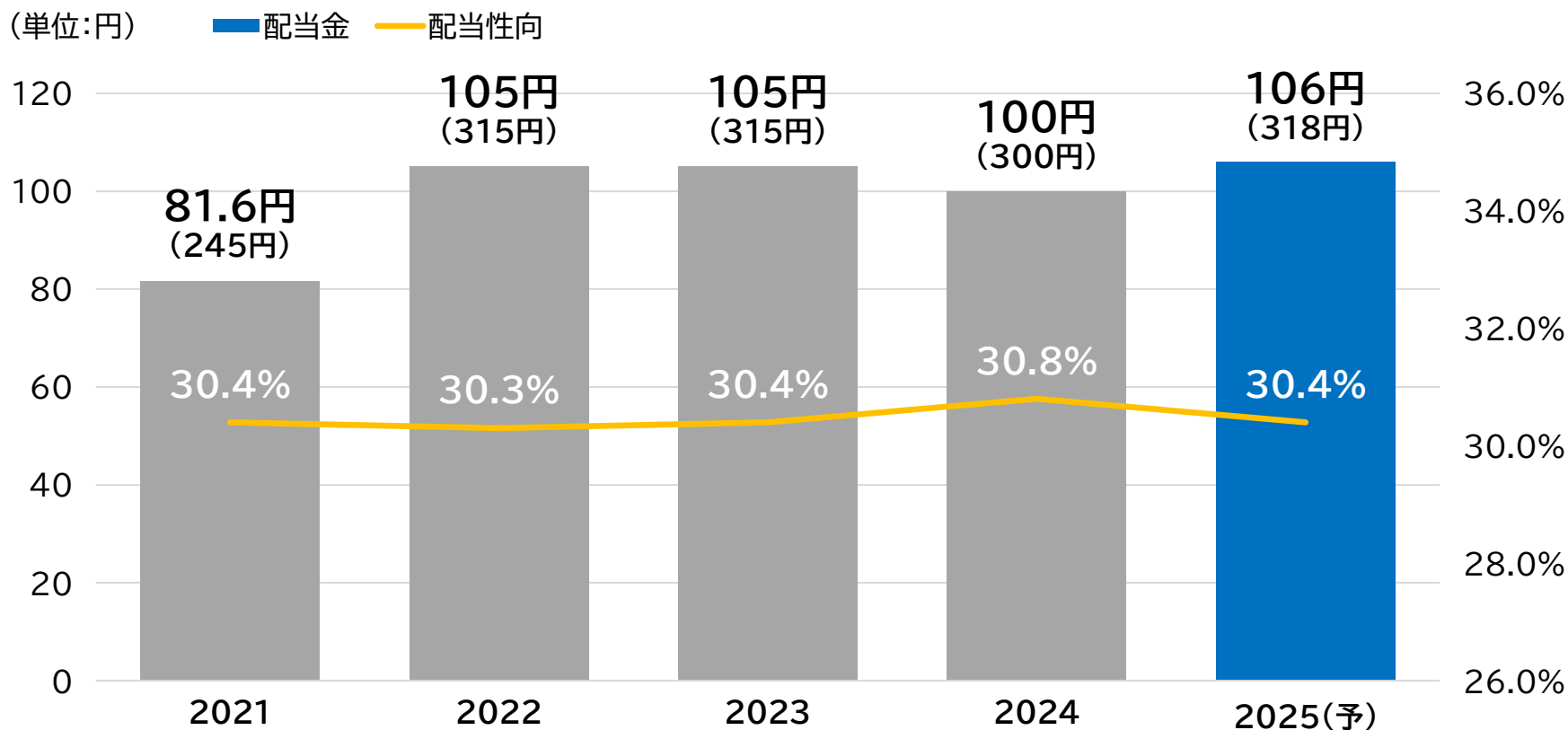
事業投資+DX投資合
計230億円

DX投資

従業員教育・研修
6億円以上

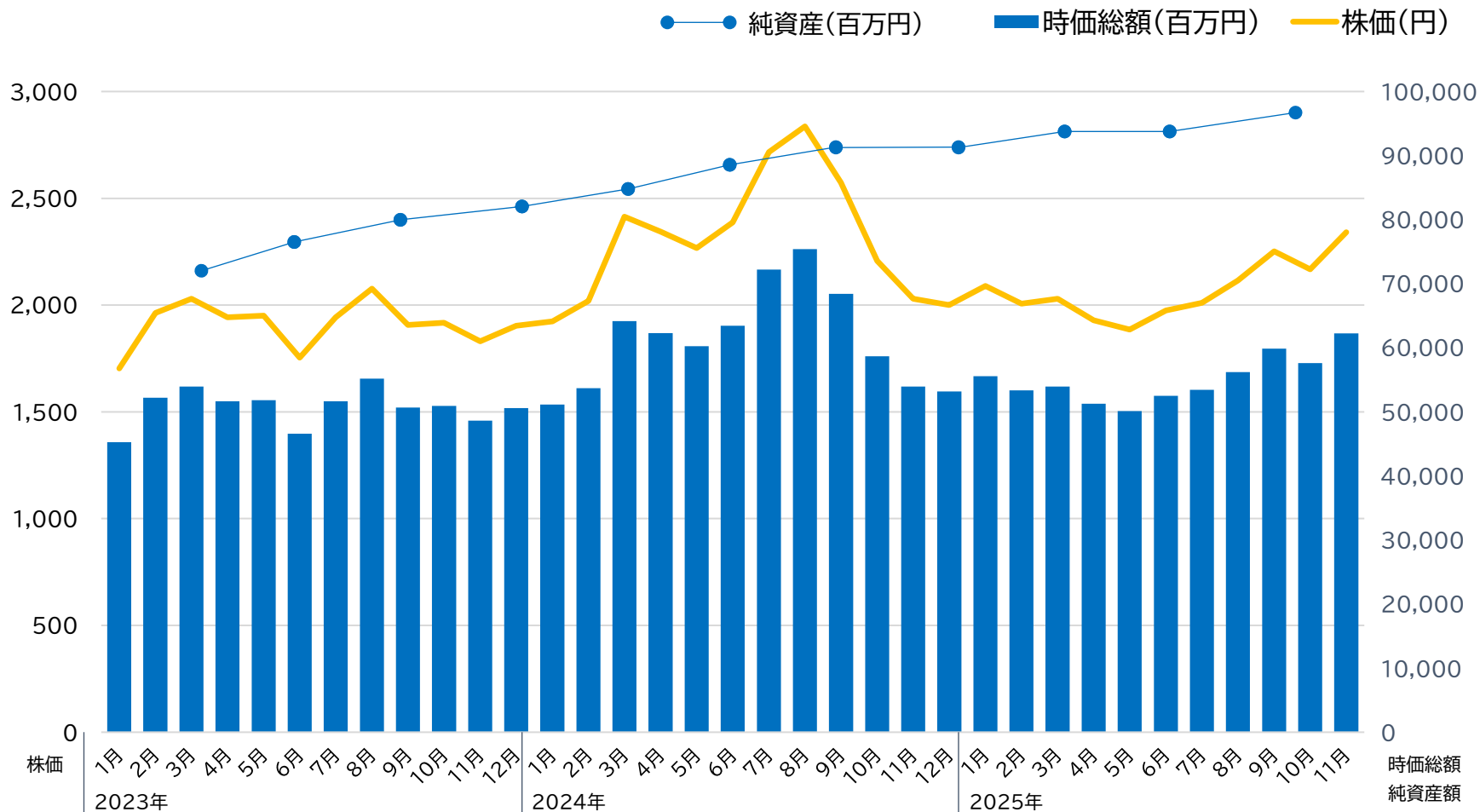
人的資本投資

- 「中期経営計画2026」での配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または1株あたり配当100円のいずれか高い方とする」としております。
- 前回公表値の年間配当金106円を据え置いております(中間53円、期末53円)。



※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2021年～2024年のグラフについては、3分割調整後のグラフとしております。
2021年～2024年の()内の数値は、株式分割調整前の数値、2025年度の()内は株式分割前を想定した数値としております。

【ご参考】 株価・時価総額の推移



【ご参考】 バランスシートの状況

| (単位：億円) | 2024年度 3月末 (2025/3月) | 2025年度 9月末 (2025/9月) | 増 減 |
|----------------|-------------------------|-------------------------|------|
| 流 動 資 産 | 3,375 | 3,140 | ▲236 |
| 固 定 資 産 | 493 | 511 | 18 |
| 〔 内訳 有形・無形固定資産 | 107 | 99 | ▲8 |
| 投資その他の資産 | 387 | 412 | 26 |
| 資 産 合 計 | 3,869 | 3,651 | ▲218 |
| 流 動 負 債 | 2,722 | 2,502 | ▲220 |
| 固 定 負 債 | 217 | 196 | ▲21 |
| 負 債 合 計 | 2,939 | 2,697 | ▲242 |
| 自 己 資 本 | 914 | 935 | + 21 |
| 非 支 配 株 主 持 分 | 15 | 18 | 3 |
| 純 資 産 | 930 | 954 | 24 |

| | | | |
|-------------|----------|----------|-------|
| 外部有利子負債 | 613 | 552 | ▲61 |
| 自己資本比率 | 23.6% | 25.6% | 2.0% |
| D/Eレシオ | 0.7倍 | 0.6倍 | ▲0.1倍 |
| 1株当たり純資産（※） | 3,461.4円 | 3,539.5円 | |
| 期末株価（※） | 1,914円 | 2,226円 | |
| PBR | 0.55倍 | 0.62倍 | |

※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、1株当たり純資産と期末株価については、3分割調整後の数値を記載しております。

統合報告書

https://www.shinsho.co.jp/ir/library/integrated_report.html



会社紹介動画

https://www.shinsho.co.jp/briefing/generalmeeting2025_250707.html



株主・投資家情報

<https://www.shinsho.co.jp/ir/>



サステナビリティ

<https://www.shinsho.co.jp/csr/>



※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。

お問合せ先：神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム

 ir.shinsho@kobelco.com